

## 自己評価報告書

平成 23 年 5 月 1 日現在

機関番号：24506

研究種目：基盤研究（B）

研究期間：平成 20 年度～平成 23 年度

課題番号：20401028

研究課題名（和文）「解放前後、太湖流域農漁村の「郷土社会」とフィールドワーク」

研究課題名（英文）“Rural Society of Taihu Lake Basin and Fieldwork in Modern China”

研究代表者 太田 出（IZURU OTA）

兵庫県立大学・経済学部・准教授

研究者番号：10314337

研究分野：人文B

科研費の分科・細目：東洋史

キーワード：中国近現代史・江南デルタ（太湖流域）・フィールドワーク・

## 1. 研究計画の概要

本年度・平成22年度まで、研究代表者（太田出）、連携研究者（山本英史、稲田清一、小島泰雄・佐藤仁史）、研究協力者（吉田建一郎、長沼さやか、宮原佳昭、横山政子）、外国人協力者（侯楊方・呉滔）が協力し、夏季・冬季を中心に太湖流域農村現地調査を実施してきた。

主な調査村は上海市青浦区の広富林村・王家村・陳家村・大長浜村で、解放後の土地改革、集団化、漁業改革、水面権、集団化期の生活（公共食堂、託児所）漁民と信仰（民間信仰、天主教）、基層社会の藝能（宣卷、賛神歌、山歌）、日本住血吸虫病（血吸虫病）農村の副業・工業化、民間文化の復興、伝統中国期農村の互助（頼母子講）、農漁村の地縁・血縁組織などについて老農漁民からヒアリングを実施しており、今後も継続していく予定である。また、当研究課題の重要な試みの一つであるGPSによる測量は様々な難問に遭遇しながらも、一部を実施にうつしており、今後状況を勘案しながら進めていきたいと考えている。

## 2. 研究の進捗状況

上記の如く、ヒアリングおよびGPSに関する研究は極めて順調に進んでおり、大

きな支障はない。平成 23 年度の最終年に向けて現在、研究の総整理の段階に入り始めている。

## 3. 現在までの達成度

すでにこれまでに佐藤仁史・太田出・稲田清一・呉滔『中国農村の生活と信仰 太湖流域社会史口述記録集』（2009年、汲古書院）を出版したほか、現在、佐藤仁史・太田出・藤野真子・緒方賢一編『中国農村の民間藝能 太湖流域社会史口述記録集2』（2011年6月出版予定、汲古書院）の本格的な整理を開始している。

## 4. 今後の研究の推進方策

平成 23 年度は最終年にあたるため、夏季に最終的な補助調査を実施した後、秋季ないし冬季にシンポジウムを計画中である。また具体的な研究成果として、太田出編『太湖流域社会の市鎮と農村』（仮題）と稲田清一・太田出・小島泰雄・佐藤仁史・吉田建一郎・呉滔『中国農村の土地利用 太湖流域社会史口述記録集3』（仮題、ともに汲古書院）を刊行する予定である。

## 5. 代表的な研究成果

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計9件）

太田 出 2008「太湖流域の農漁村と歴史学 ヒアリングから明らかにする「非文献」の世界」東京大学東洋文化研究所、アジア研究情報

gateway Asian Studies watching 論集  
～ アジア学の最前線  
<http://asj.ioc.u-tokyo.ac.jp/html/050.html>

太田 出 2008 「水辺からみる中国のコモンズ」『Local Commons』2008年10月号、pp.2-3

太田 出 2009 「近世アジアにおける警察と監獄」『歴史地理教育』741号、pp.18-25

太田 出 2008 (唐立宗著) 「地方輿論の形成 明代広東省惠州府と『定氛外史』」慶應義塾大学『史学』第77巻1号、pp.31-63

太田 出 2008 「明清時代「歌家」考 訴訟との関わりを中心に」『東洋史研究』第67編1号、pp.34-68 有

太田 出 2008 「太湖流域社会史現地調査報告 外国史研究者とフィールドワーク」『近代中国研究彙報』30(佐藤仁史と共著) pp.91-115 無

太田 出 2008 「清末民国期の太湖流域漁民 漂泊・漁撈生活と入漁慣行」加藤雄三他編『東アジア内海世界の交流史』人文書院、2008年、pp.217-236、所収 無

太田 出 2009 「太湖流域漁民の香頭と「社」「会」 華北農村調査との比較 試論」『近きに在りて』55号、pp.45-56 無

太田 出 2009 「中国太湖流域漁民と内水面漁業 権利関係のあり方をめぐる試論」(『グローバル時代のローカル・コモンズ』環境ガバナンス叢書、第3巻、ミネルヴァ書房、pp.193-212)

〔学会発表〕(計3件)

太田出:2008年6月29日 シンポジウム(特定領域研究『持続可能な発展の

重層的環境ガバナンス』グローバル時代のローカル・コモンズの管理班)

題目:「中国太湖流域漁民と内水面漁業 権利関係のあり方をめぐる試論」

太田出・佐藤仁史:2008年7月27日 シンポジウム(文部科学省特定領域研究・研究課題名「東アジアの海域交流と日本伝統文化の形成 寧波を中心とする学際的創生」主催、於東京・東京大学)

題目:「水上居民と近現代浙江社会 九姓漁戸調査を中心に」

太田出・佐藤仁史:2009年10月24日 シンポジウム(科研費研究課題名「太湖流域農漁村の「郷土社会」とフィールドワーク」主催、於東京・慶應義塾大学東アジア研究所)

題目:「寧波・浙江地域の“船上生活者”」

〔図書〕(計1件)  
佐藤仁史・太田出・稲田清一・吳滔『中国農村の生活と信仰 太湖流域社会史口述記録集』(2009年、汲古書院)

〔産業財産権〕  
出願状況(計0件)

なし  
名称:  
発明者:  
権利者:  
種類:  
番号:  
出願年月日:  
国内外の別:

取得状況(計0件)

なし  
名称:  
発明者:  
権利者:  
種類:  
番号:  
取得年月日:  
国内外の別:

〔その他〕  
なし